

次号予告

特集 面接技術

面接……………山梨日下部病院 MD 松井紀和
 インテーク面接

理学療法士におけるインテーク面接……………筑波大学 PT 福屋靖子

作業療法士におけるインテーク面接(身障)

……………九州リハビリ大学校 OT 山口 鞆 音

作業療法士におけるインテーク面接(精神)

……………九州大学病院 OT 内村 静子

精神療法的治療面接(通院治療を中心に)

……………山梨日下部病院 CP 佐野直哉

相談面接……………PSW 横田 碧

座談会:技術としての面接……………荻島秀男・他,(司会)大段智亮

とびら 混沌と較差……………牧病院 OT 須賀 善良

講座 運動生理学 3. 運動と血液……………中京大学・体育学部 朝比奈 一男

プロGRESS 向精神薬の最近の動向(Ⅲ)(予防薬)

……………慶応大学精神神経科 MD 吉田 弘 宗

リハビリテーション・インフォメーション

<石川県>……………鳴和総合病院 PT 山黒 春男・他

<和歌山県>……………和歌山労災病院 PT 椎原 敏昭・他

あんでな 大学医学部におけるリハビリ教育の実況(現状)

……………帝京大学 MD 岩倉 博 光

資料 第16回理学療法士・作業療法士国家試験・模範解答(Ⅳ)(1981年)

編集後記

1981年盛夏、国際障害者年も軌道にのり、盛り沢山の行事が日本列島のあちこちでくりひろげられるようになりました。あなたの地域での活動は活発ですか? あなたはそれに積極的に参加していますか?

障害者たちは燃えています。私たち障害者を援助する立場にある者も千載一遇のチャンスですから大いに闘志をやり行動しましょう。国際障害者年推進協議会では、先だって「10年の行動計画」の草案をまとめました。100余の団体が加盟している協議会の総会では、この案をめぐって活発な議論が展開されました。「障害者中心でなく専門家志向である」とか、「格調が低い」とか「長期的展望がなく近視眼的である」とか。主催者側の御苦勞も大変であろうと推察しました。PT, OTに関連するものとしては「リハビリテーション技術者の4年制大学での養成」などがあげられていました。PT, OTの評価をしてくれるのは患者・障害者です。「PT, OTの教育は4年制でなければダメ」と彼らが叫ぶようになってく

れることを願うものです。

さて、今回の特集は「デイ・ケア」です。これは極めて今日的なテーマといえます。これは極めて今日的なテーマといえましょう。精神科(伊藤氏・他、吉沢氏)、老人(沢田氏、河本氏)、小児(太田氏・他)と各分野のデイ・ケアの実践報告はいずれも「きびしい条件の中でよくやっている」と頭の下るものばかりです。80年代から21世紀のリハの形態としてみます期待されるデイ・ケアの今後の発展を祈ってやみません。それと共に PT, OTの技術も深めていかなくてはならないでしょう。「何も PT, OTでなくてもやれるでしょう」とはこの分野で働く管理者からよくきくことばです。また現に PT, OT不足でやりたくても積極的には取り組めない分野です。デイ・ケアを「PT, OTの進出が将来不可欠な分野」として大事に育てていきたいところでしょう。

(寺山久美子)

<編集顧問>

天 児 民 和

九州労災病院名誉院長

五味 重 春

埼玉県生活福祉部

砂 原 茂 一

国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一

東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎

川崎リハビリ学院長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏

東大リハビリ部

荻 島 秀 男

リハビリテーションペ

イン(痛み)クリニック

クわび診療所

大喜多 潤

兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子

都心身障害者センター

富 岡 詔 子

山梨日下部病院

奈 良 勲

金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子

筑波大学

松 村 秩

都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元

宇都宮 初 夫

大 丸 幸

金 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

木 村 信 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 智 明

嶋 田 明 子

鈴 木 昌 家

関 昌 明

高 橋 正 明

中 屋 久 隆

橋 元 隆

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)